

リハビリテーション科・脳神経外科に過去に通院又は入院された
患者さんまたはご家族の方へ
臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]

Wisconsin Card Sorting Testにおける固執エラーとセット維持困難が達成カテゴリー数に及ぼす影響：構造モデルによる検討

[研究機関名・長の氏名]

北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者所属・氏名]

北海道大学病院リハビリテーション部 副作業療法士長 小川 圭太

[研究の目的]

Wisconsin Card Sorting Test（ウィスコンシン・カード・ソーティング・テスト）は、カードの分類課題を通して、考え方を柔軟に切り替える力や判断力などの「実行機能」を評価する神経心理学的検査です。

この検査は、主に頭部外傷、脳卒中、脳腫瘍などの脳の病気やけがの後にみられる認知機能の変化を評価する目的で、リハビリテーションの過程で実施されることがあります。

本研究では、この検査における「間違い方の特徴」を分析し、その意味を明らかにすることで、実行機能の評価をより正確に理解し、今後のリハビリテーションに役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2001年4月1日から2026年2月4日までの間に、当院の主にリハビリテーション科または脳神経外科を受診し、頭部外傷、脳血管障害、脳腫瘍、低酸素脳症などの中枢神経系疾患の患者さんで作業療法を受けた方。

○利用する情報

*2026年2月4日までのカルテ情報を収集します。

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（Wisconsin Card Sorting Test）

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始：2026年4月頃)～2031年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院リハビリテーション部 担当者 小川 圭太

電話 011-706-5740 FAX 011-706-7626